

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-1-1 地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業

30予算額	0千円	元予算額	14,263千円
-------	-----	------	----------

目標	目標値	結果
本事業の参加者へのアンケートで、西成区に魅力を感じたと答えた割合	70%以上	74.3%

達成

取組実績

- にぎわい創出のためのフォーラムを8月、9月、12月に3回開催
- 新今宮フェスティバルを10月から11月に9日間開催、参加者数約6400人
- 空き店舗などの改修費用の一部補助制度の創設を行い、8月、9月に申請受付を行い1件の補助決定を行った。



フォーラムの開催



新今宮フェスティバルの開催

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-1-2 西成区魅力発信事業

30予算額	1,271千円	元予算額	1,731千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
区のイベント等の参加者や区内の宿泊者等へのアンケートにより、区内の歴史的な名所などを知っていると答えた割合	50%以上	55.7%

達成

取組実績

- ・「西成しごと探偵団」を実施
- ・観光マップの外国語版の作成
英語・中国語(簡体字):各1,500部
- ・小学校への出前授業の実施、マップを掲載したクリアファイル作成、「にしなり銭湯スタンプラリー」実施、マップのJR新今宮駅配架など
- ・SNS発信回数 40回以上



西成しごと探偵団



外国語版観光マップ



出前授業



クリアファイル

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-2-1 地域コミュニティ支援事業

30予算額	64,515千円	元予算額	64,515千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
本市の実施するアンケートにより、まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合	88%以上	約90%

達成

取組実績

- ・ 地域一丸となって、様々な事業や行事等に取り組めるよう、中間支援組織を活用しながら地域活動協議会の支援を行った。
- ・ 組織運営や、会計処理にかかる支援
- ・ 新たな担い手の確保、他のさまざまな活動主体との連携・協働、及び地域公共人材の活用にかかる支援
- ・ 地域課題やニーズの把握と解決に向けた支援(地域カルテ活用支援等)
- ・ 多様な市民活動をサポート出来るよう説明会における市民局の支援ツールも含めた情報提供

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-2-2 緑化推進事業

30予算額	1,674千円	元予算額	1,674千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
区民モニターアンケートにおいて、「お住まいの地域での地域活動(地域で行われる催し物、事業等)に関心がある」と答えた区民の割合	30%以上	35.7%

達成

取組実績

- ・ 種から育てる地域の花づくり事業の実施 年3回地域へ出荷(年間約53,000株)
- ・ ボランティアの意見交換会の設定 年9回
- ・ ボランティア募集チラシの配布(区内イベント実施時) 年2回
- ・ 花の講習会の実施 年6回
- ・ ボランティア養成講座の開催 年1回

ボランティアによる活動



地域の花壇へ植え付け

花講習会



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-1 西成版サービスハブ構築・運営事業

30予算額

0千円

元予算額

19,256千円

目標	目標値	結果
課題解決に向けた具体的事例の検討件数	100件	59件

未達成

取組実績

- ・ 居場所提供(月曜日～土曜日、約200日)
- ・ 就労支援(同上)
- ・ 就労やボランティア先の開拓(随時)

課題と改善策

- ・ 今年度は、あいりん総合センター閉鎖の影響により、事業実施準備等に時間を要し、事業開始が予定よりも1か月間遅くなった。
- ・ 事業に関するノウハウが蓄積されていないため、利用者の選定や委託先事業者との調整等に時間を要した。
- ・ 来年度は、4月から切れ目なく事業を継続できるように、着実に準備を進めることとする。
- ・ 今年度事業の実施によって得られた成果に基づき、マニュアル等を作成し、効率的に利用者の選定等を進めることができるようにしていく。



経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-2 地域における要援護者の 見守りネットワーク強化事業

30予算額	28,689千円	元予算額	28,287千円
-------	----------	------	----------

目標	目標値	結果
・地域へ提供した西成つながり名簿の更新	・全16地域	・更新16地域
・認知症高齢者の事前登録者数 ・発見協力者の登録者数	・新規登録50件以上 (年度末登録150件以上) ・新規登録30件以上 (年度末登録320件以上)	・新規登録73件 (年度末登録172件) ・新規登録28件 (年度末登録275件)
見守りフォーラムなどの参加者に対するアンケートで地域における見守り活動に関わっていくことが必要だと感じている割合	60%以上	66%

未達成

取組実績

- ①要援護者名簿提供にかかる郵送及び訪問による同意件数8,726件(対象者14,888件)
- ②見守り相談室への相談件数1,915件
- ③認知症高齢者の事前登録者新規73人、行方不明時の発見協力者登録新規28件

課題と改善策

- 行方不明時の発見協力者登録(個人)については、民生委員児童委員であることが条件となっており、今回、民生委員児童委員の改選により、退任された方が減となった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で会議や研修が開催されなかったことで、新任民生委員児童委員に対して周知が十分できなかった。
- 新年度以降開催される各地区民生委員児童委員協議会の会議や研修会等で、民生委員児童委員に対して周知を行うことにより協力を求めていくことで行方不明時の発見協力者の登録を増やしていく。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-3 単身高齢生活保護受給者の 社会的つながりづくり事業

30予算額

12,885千円

元予算額

12,881千円

目標

目標値

結果

「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合

70%以上

社会的つながりができたと感じる:35%
生活が改善したと感じる:60%

未達成

取組実績

- あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する社会貢献プログラム等の提供(毎日)
- あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する金銭・服薬管理等に関する支援(随時))



草刈りのボランティア活動



見守りを兼ねた健康相談

課題と改善策

- 事業開始から7年が経過し、長年にわたって事業を利用している者も多く、新たに「社会的つながりができた、かつ、生活が改善した」と感じるようになる利用者が減少している。そのため、今後は、新規利用者をさらに増やしていくための工夫が求められる。
- いわゆる居場所機能を強化し、気軽に立ち寄ることができる場所にしていくとともに、事業におけるプログラムの内容を見直し、より広範囲の方が、気軽に参加できるようなプログラムを増やしていく。これにより、「社会的つながりができた」「生活が改善した」と感じるようになる余地が大きい、新規の利用者を増やしていくこととする。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-4-1 人権尊重のまちづくり

30予算額	2,000千円	元予算額	2,000千円
-------	---------	------	---------

目標	目標値	結果
人権を考える区民のつどい、人権講座のアンケートで「事業の内容に満足した」と回答した参加者の割合	70%以上	人権を考える区民のつどい:91.7% 人権講座:96.7%

達成

取組実績

- 人権を考える区民のつどい(2回)
- 人権講座(2回)
 - “わたし”からはじめるじんけん講座～気づきから築きへ
 - 初めて学ぶLGBT
 - (3回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 西成区広報紙への人権コラム掲載(年4回)



人権講座「初めて学ぶLGBT」

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ(1)

◇地域資源を活かした新たなにぎわいづくりと活性化

- 区民や区のイベント参加者が「西成区の地域資源を活かした取組みが、にぎわい創出やまちの活性化につながっている」と感じる割合は高い。今後は西成区のイメージを向上するプロモーションの充実をはかり、さらに新たなにぎわいを創出して、地域の活性化につなげる必要がある。

◇地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

- 「単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」「西成版サービスハブ構築・運営事業」の2事業は、ともに、支援の過程を通じて、生活保護受給者を就労や社会貢献などにつなげ、社会への再包摂を果たしていくことを目的としており、数値目標には達しなかったものの、この目的は一定程度、果たすことができているものと評価できる。もっとも、今後、さらに裾野を広げ、新たな利用者確保などに努めていく必要がある。
- 「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」については、民生委員児童委員の改選の影響もあり、一部目標未達成となったものの、西成つながり名簿の更新や、見守りフォーラムの開催など、きめ細やかな見守りネットワークの実現に向けて取組みを行った。今後は、新たに策定した西成区地域福祉計画のもと、地域の関係者とも連携をしながらネットワークの強化に努めていくこととする。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ(2)

◇地域でのつながりづくり・福祉によるまちづくり

- ・ 「単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」「西成版サービスハブ構築・運営事業」の2事業は、ともに、支援の過程を通じて、生活保護受給者を就労や社会貢献などにつなげ、社会への再包摂を果たしていくことを目的としており、数値目標には達しなかったものの、この目的は一定程度、果たすことができているものと評価できる。もっとも、今後、さらに裾野を広げ、新たな利用者確保などに努めていく必要がある。
- ・ 「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」については、民生委員児童委員の改選の影響もあり、一部目標未達成となったものの、西成つながり名簿の更新や、見守りフォーラムの開催など、きめ細やかな見守りネットワークの実現に向けて取組みを行った。今後は、新たに策定した西成区地域福祉計画のもと、地域の関係者とも連携をしながらネットワークの強化に努めていくこととする。

◇人権尊重のまちづくり

人権に対する意識については、人権啓発推進の取組みを継続的に実施することで変わってきているが、区民一人ひとりの人権意識が向上していると実感できるまでには至っていない。引き続き、多様な機会を通じて区民に対して広く人権啓発推進の取組みを進めていく必要がある。